

# 報 道 資 料

平成28年1月26日  
消費・生活安全課  
食品安全推進係  
担当：中谷、榎谷  
内線：3182、3185  
ダイヤル：27-8681

## 食中毒事件の発生について ～ふぐによる食中毒～

平成28年1月17日（日）正午頃に、橿原市内の医療機関から「ふぐ食中毒の疑いがある患者を治療している」旨の連絡が中和保健所がありました。

同保健所が調査したところ、1月16日（土）の正午頃、大和高田市内の家庭で2名がふぐの卵巣などを喫食し、2名とも、おう吐、麻痺等の食中毒様症状を呈し入院していたことが判明しました。

調査の結果、有症者の症状が類似していること、有症者の尿、血液及び気管から吸引抽出された卵巣様異物からテトロドトキシンが検出されたこと及び有症者を診察した医師から食中毒の届出があったことから、同保健所は食中毒と断定しました。

なお、有症者のうち1名は既に退院しました。残り1名は現在も入院していますが、快方に向かっています。

発 生 日 時	平成28年1月16日（土） 午後2時（初発）～
有 症 者	有症者数：2名 男 性：1名（57歳） 女 性：1名（52歳） 受診者：2名（うち入院者2名）
主 症 状	有症者（2名）の状況 両名とも、おう吐、しびれ、脱力感、全身麻痺を発症
原 因 食 品	ふぐの卵巣
病 因 物 質	ふぐ毒（テトロドトキシン）
検 査 状 況	有 症 者 の 血 液：2検体（2検体からテトロドトキシン検出 定量下限未満） 有 症 者 の 尿：2検体 〔 2検体からテトロドトキシン検出 0.117 $\mu$ g/mL(0.53MU/mL)及び0.337 $\mu$ g/mL(1.53MU/mL) 〕 有症者の気管内から吸引抽出された卵巣様異物：1検体 （テトロドトキシン検出 6.3 $\mu$ g/g（29MU/g）） 有症者のおう吐物：1検体（陰性） 調 理 済 の 卵 巣：3検体 （1検体からテトロドトキシン検出 7.8 $\mu$ g/g（35MU/g））  ※1MU（マウスユニット）は体重20gのマウスを30分間で死亡させる毒量  なお、テトロドトキシンが検出された有症者の気管内から吸引抽出された卵巣様異物及び調理済の卵巣について、大阪市環境科学研究所の協力を得てふぐの種別鑑定（遺伝子検査）を行ったところ、何れもトラフグ属のふぐであることが判明しました。
メ ニ ュ ー	卵巣とチンゲンサイとすいとんの鍋

◎有症者の発生状況

年齢	～9歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	～89歳	合計
男性	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)
女性	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)
計	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(2)	0(0)	0(0)	0(0)	2(2)

( )受診者 再掲

住所別

奈良県：1名、大阪市：1名

参 考

食中毒発生状況（奈良市を含む）			
本年度（本件を含まず）	件数： 6件	有症者数：	75名
昨年同時期	件数： 7件	有症者数：	188名
昨 年 度	合計： 8件	有症者数：	205名

★報道機関の皆様へ★

県民の皆様への下記事項の情報提供・啓発にご協力をお願いします。

ふぐによる食中毒について

ふぐは猛毒（テトロドトキシン）を持っており、食べられる部位と食べられない部位が決められています。

適切にふぐを調理しないと食中毒を起こし、時には死に至ることがあります。

ふぐによる食中毒のほとんどは、素人によるふぐ料理により発生していますので、

**ふぐの素人調理は絶対にやめましょう。**

万一ふぐ中毒を疑う症状が現れたときは、一刻も早く医療機関を受診し適切な治療を受けてください。

なお、本県では、「ふぐの販売及びふぐ処理師に関する条例」により食用としてのふぐ処理を規制しており、試験（学科、実地試験）に合格した者に対してふぐ処理師免許証を交付し、ふぐによる食中毒防止を図っています。

<特徴>

- ・ふぐ毒（テトロドトキシン）は、熱や酸に強いので、通常の調理では無毒化することはできません。
- ・ふぐ毒は、消化酵素では分解されません。また免疫抗体は生じませんので、一度中毒した人でも、再度中毒します。
- ・ふぐ毒は、水には溶けにくいので、水晒しや水洗いで除去することはできません。
- ・ふぐの種類によっては、皮、筋肉（身）、精巢（白子）にもふぐ毒が含まれています。
- ・確実な治療法はありません。

<症状>麻痺、おう吐、呼吸困難など

<原因>ふぐなどに含まれるテトロドトキシンを摂取することにより発生します。

◎本県におけるふぐ食中毒の発生事例（平成元年度以降）

発生年月	種類	部位	原因施設	患者数（死者数）
平成4年4月	トラフグ	肝臓	家庭	1名（0名）
平成12年12月	トラフグ	肝臓	家庭	1名（0名）